



Fileforce Data Transfer ver 1.0.9069

**簡易説明書
付録**

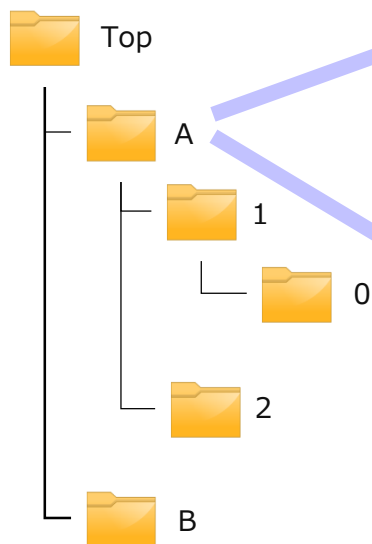
2017/5/22

ファイルフォース株式会社

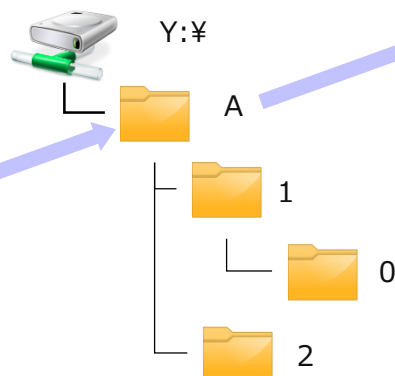


差分を検知できるパターン

NAS側の構成



PC-1



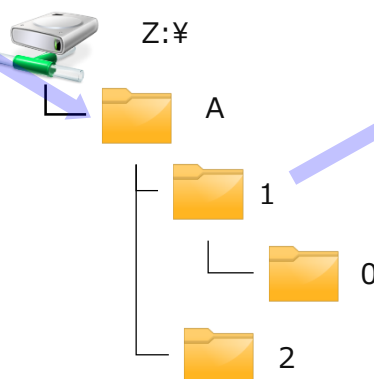
PC-1で「A」フォルダを転送元とし、データ転送を実施した結果、ff-foldersメタ情報には以下のパスで記録されます：

Y:¥A
Y:¥A¥1
Y:¥A¥1¥0
Y:¥A¥2

ドライブレターは無視されるため、右記のパスが比較対象となります：

¥A
¥A¥1
¥A¥1¥0
¥A¥2

PC-2



PC-2で「1」フォルダを転送元とし、データ転送を実施した結果、ff-foldersメタ情報には以下のパスで記録されます：

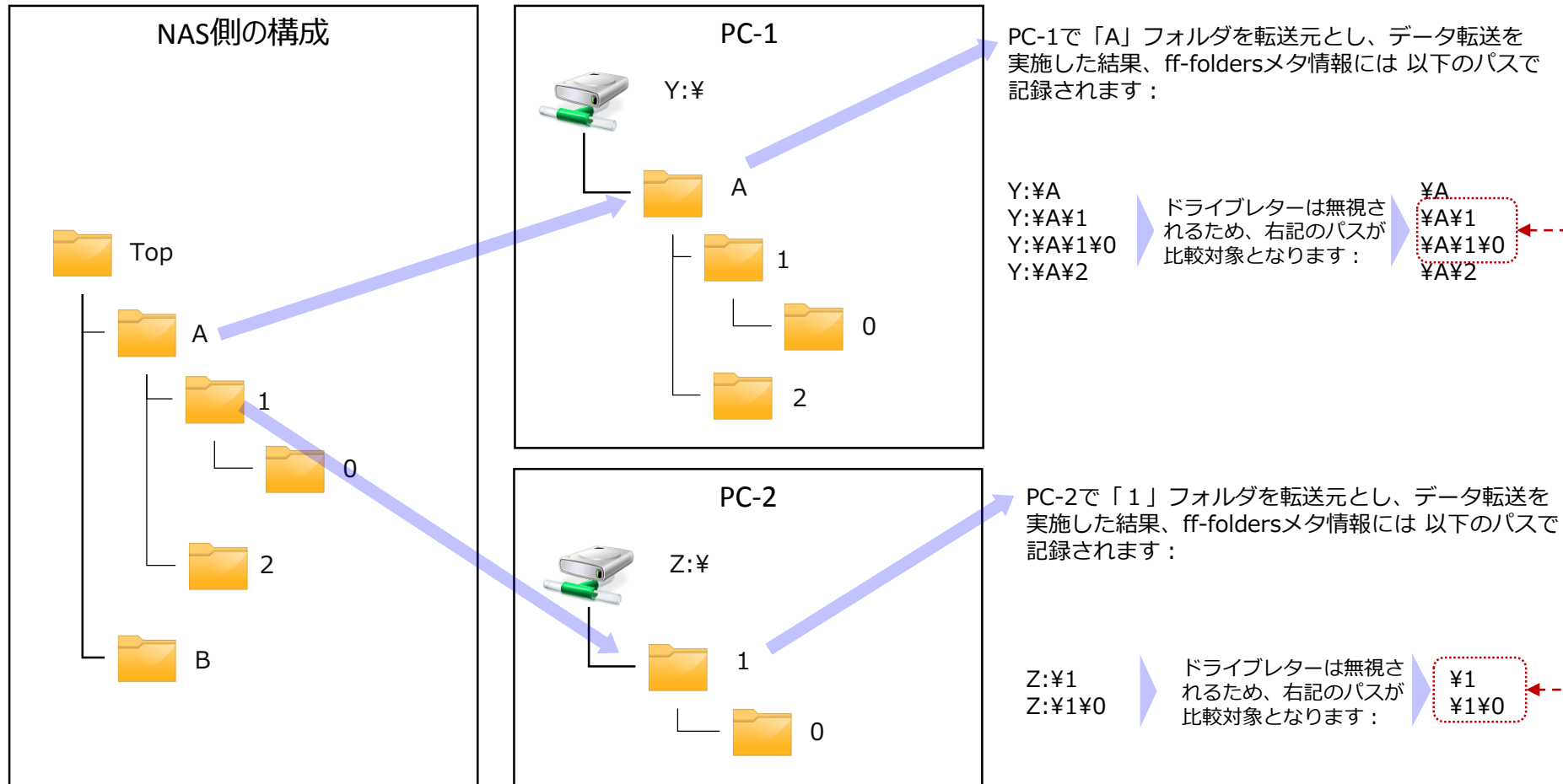
Z:¥A¥1
Z:¥A¥1¥0

ドライブレターは無視されるため、右記のパスが比較対象となります：

¥A¥1
¥A¥1¥0

上記の例では、マウントポイントが同一であるため、別階層のフォルダを扱っても、パス比較で、「Y:¥A¥1」⇔「Z:¥A¥1」と「Y:¥A¥1¥0」⇔「Z:¥A¥1¥0」が同一とみなされ、差分を正しく検知できます。

差分を正しく検知できないパターン



上記の例では、「Y:A¥1」=「Z:¥1」と「Y:¥A¥1¥0」=「Z:¥1¥0」であるにもかかわらず、マウントポイントの階層が違うため、パス比較で**変更あり**（移動など変更が加えられた）とみなされ、再アップロードとなります。